

としよかん だより

長崎市立図書館

〒850-0032 長崎県長崎市興善町1-1

TEL 095-829-4946 FAX 095-829-4948

ホームページ <https://lib.city.nagasaki.nagasaki.jp/>



ホームページスマホ版

2023.3 No.181



Topic

■図書館ボランティア

毎年、多くのボランティアの方々に図書館の活動を支えていただいています。

令和4年度も本を棚に並べる配架作業、本の修理などの装備作業、新聞記事のクリッピング作業、イベントの会場設営や誘導など、さまざまな活動をしていただきました。

Information

図書展示

- 1階特集展示 科学道100冊 2022 (～3/30)
- 1階特別展示 遠藤周作生誕100年
- 2階特集展示 学問から恋愛を見つめる (～3/30)
- 2階特別展示 ケアしてありますか？大切なあなたのこころとからだ
～女性の健康週間～ (～3/24)
- YA特集展示 カラフルに生きる
- YA投稿展示 卒業宣言！
- 児童特集展示 春をさがそう
- 児童ミニ展示 おおきくなあれ！



休館します

3/13(月)～3/17(金)

システム更新のため休館します。
香焼図書館・各図書室の休館等は
各施設におたずねください。

開館します

3/21(火・祝)

令和5年1月より
火曜日が祝日にあたるときは
開館します。

4/1(土)～

9時30分開館に変更します

利便性向上のため、開館時間を早めます。
駐輪場・駐車場・
スタディールームも同様です。

開館状況やイベントの情報などは、図書館のホームページまたは館内のポスターをご確認ください。

思いを伝える手段として、私たちは時に文章を書く



あなたに伝えたいとおきの言葉
石飛博光「書」の絵本

石飛 博光/著
日貿出版社
2014年刊
ラベル：H728.2イ(1階趣味娯楽)

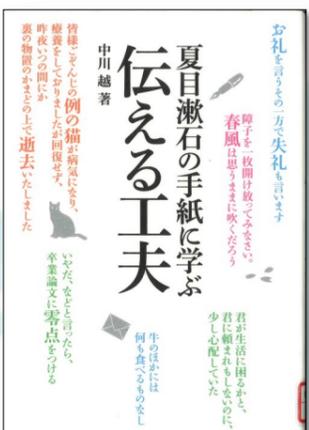
そばに置いて眺めるだけで心が和む。生きる力が湧き、新しい自分に出会える。著者が描く生きる知恵、人生の味わい、心の支えとなる文字たちが紙面で踊る「書」の絵本。



手紙が語る歴史秘話
書簡と現代語訳で日本史の裏側を読み解く
戦国武将から明治の文人まで

「江戸楽」編集部/編
メイツユニバーサルコンテンツ
2022年刊
ラベル：210.04テ(2階フロア)

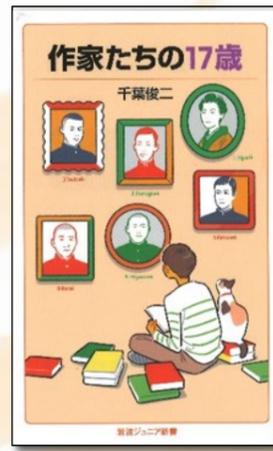
歴史を動かしてきた人物たちの生の筆跡と文章に触れる。新たな視点で語られる「あの出来事」、家臣や友人に見せた「意外な素顔」、親しい人への私信に垣間見える「日常の息づかい」を感じることができる1冊。



夏目漱石の手紙に学ぶ伝える工夫

中川 越/著
マガジンハウス
2014年刊
ラベル：910.268ナ(2階フロア)

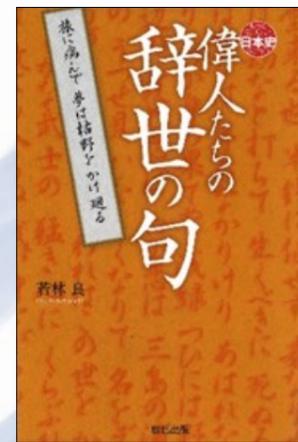
2,500通余り現存する夏目漱石の手紙。その中から、近況報告やお礼の文章などを取り上げ、現代語訳を用いて紹介。漱石が綴った文から、読み手に対する伝え方の工夫をみる。



作家たちの17歳

千葉 俊二/著
岩波書店
2022年刊
ラベル：S910.26チ(1階新書)

十七歳、誰もまだ「文豪」じゃなかった。作家になろうと決意する者、進路をめぐって父に反発する者。十代のころの作家たちの選択と決断を、当時の日記や創作の言葉とともに明らかにする。



偉人たちの辞世の句

若林 良/著
辰巳出版
2019年刊
ラベル：281ワ(2階フロア)

文化人や僧侶、任侠など、奈良時代から昭和の戦前期までに活躍した偉人たちの最期の歌を集める。人物像や作品解説などとともに、彼らの人生観にふれる。



井上ひさしから、娘へ
57通の往復書簡

井上 ひさし/著 井上 綾/著
文藝春秋
2017年刊
ラベル：F915.6イノ(1階日本現代)

作家井上ひさしが亡くなる5か月前まで続けられたという娘との「往復書簡」。優しく話すように綴られる5年におよぶ「言葉の贈り物」。

